

残席わずか

最新技術動向の概説とその情報源【オンラインライブ】（4125228）

イノベーションを通した最新技術の適応が、企業の競争力や差別化のために重要な要素となるケースが多くなってきました。技術の進歩と、多様性の速度は、年々増していく一方です。こうした状況において、トレンドになっている技術概念を素早く理解いただけるよう、最新技術・技術動向を俯瞰して概説します。また、技術動向の調査方法について、講師の経験を基にお話しします。

開催日時	2026年3月4日（水） 9:00-16:00ライブ配信	
JUAS研修分類	ITアーキテクト・システム企画・IT基盤(IT技術 最新動向)、データ・AI活用・技術動向(AI・新技術 検証)	
カテゴリー	IS戦略策定・IS戦略評価・IS企画・IS企画評価	専門スキル
講師	館田潤 氏 （キンドリルジャパン株式会社 アドバイザリー・アーキテクト） 2003年日本IBM入社。関西の中堅企業のお客様担当SEを歴任 2012年人材交流の一環でJR九州に出向。鉄道安全推進・サービス企画に従事 2013年の帰任後、OSSやコンテナ技術に関心を持ち、同分野のシステム設計・構築を担当 2021年 日本IBMの分社に伴いキンドリルジャパン株式会社へ	
参加費	J U A S 会員/ITC：35,200円 一般：45,100円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】	
会場	オンライン配信（指定会場はありません）	
対象	企業内で情報システムを企画・開発・運用保守をされる方	
開催形式	講義	
定員	25名	
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）	
ITCA認定時間	6	

主な内容

■受講形態
ライブ配信（Zoomミーティング）【[セミナーのオンライン受講について](#)】

■テキスト
開催7日前を目途に発送（お申込時に送付先の入力をお願いします）
※本講座のテキストにおいてデータでの配布はいたしません。
※開催7日前から開催前日までにお申込の場合、テキストの送付は開催後になることがあります。ご了承ください。

■開催日までの課題事項
特になし

企業活動において、ITの重要性は年々増しています。イノベーションを通した最新技術の適応が、企業の競争力や差別化のために重要な要素となるケースが多くなってきました。

技術 の進歩と、多様性の速度は、年々増していく一方です。

しかし、企業内の情報システム部門では、日々の業務に追われ、最新技術を導入、検証する余裕がとれないのが実情です。

本講座ではこうした状況において、企業の情報システム部門の担当者向けに、トレンドになっている技術概念を素早く理解いただけるよう、最新技術・技術動向を俯瞰して概説いたします。

また、そうした技術動向の調査方法について、講師の経験を基にお話しいたします。

- <内容>
- DXと情報システム部門の役割
 - 技術動向概説
 - オープン・ソース・ソフトウェア

- ・クラウド/クラウド・ネイティブ
- ・ブロックチェーン
- ・人工知能
- ・その他最新の話題

3. 最新技術動向の調査方法～講師の経験を基に～

■参加者の声

- ・幅広く最新の技術動向が知れて有意義なセミナーだった。
- ・先端技術の導入として受講して良かった。
- ・最新技術動向を学びつつも、「そもそも」の初歩的な知識についても一緒に学び得ることができ、大変参考になった。